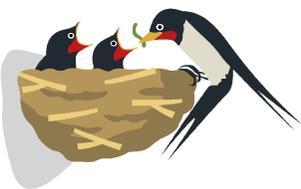


つよく・やさしく・心をこめて

三勲小だより



平成29年6月7日(水)

<がんばった運動会>

5月21日(日)に行われた運動会ではご多用の中、多くの皆様に温かいご声援を送っていただき、また、PTAの皆様にはいろいろな仕事をお引き受けいただきましてありがとうございました。子どもたちは、本番まで、一生懸命練習を重ねてきました。めあてに向かって頑張る姿は、見ていて胸が熱くなるほどでした。

当日は天候にも恵まれ、どの学年も日頃の練習の成果を存分に発揮し、演技に全力で取り組んで最後まで力を出し切ることができました。また、高学年は演技だけでなく、応援団や係の仕事も精一杯行い、学校のリーダーとして活躍することができました。この運動会を通じて、子どもたちは、最後まであきらめないこと、協力すること、自分の仕事に責任をもって取り組むこと、全力を出し切ることなどの大切さを学んだことでしょう。この学びを今後の生活にしっかりと生かしてほしいと思います。



<全校朝会>

先日の全校朝会では子どもたちに、次のような話をしました。

おはようございます。
先日の運動会は皆さんよく頑張りましたね。演技や応援、係の仕事に「つよく、やさしく、心をこめて」取り組んだ皆さんは全員、三勲小の「光る子」です。運動会で頑張ったことをこれからの生活にしっかりと生かしてほしいと思います。



さて、森進一さんという歌手がいます。この人は子どもの頃、島に住んでいました。ある夏休みの暑い日、進一少年は、お母さんと二人で、船に乗るために港に行くことになりました。船は一日に何回かしか出入りしません。重い荷物を二人で持って、遠い道を歩いて、やっと港に着きました。二人ともとても疲れていました。もう少しで船が出る時間です。

その時、進一少年は、はっと気がつきました。「たいへんだ。大事な仕事を忘れていた。今日は僕が学校のうさぎ当番だった。餌をやっていない！」

このまま船に乗ったら、うさぎは死んでしまいます。「どうしよう！うさぎはおなかをすかせているだろう。でも学校までの遠い道をまた戻るのはいへんだ。船が出てしまうかもしれない・・・」進一少年は悩みました。でも、心を決めました。「お母さん、うさぎに餌をやってくる。すぐ戻るから待っててね。」

進一少年は暑さの中、今来た道を学校に向かって走り出しました。「うさぎは元気かな。ごめんね。すぐ行くから待っていてね。」そう思って一生懸命走ってようやく学校に着きました。餌を持ってうさぎ小屋に入るとうさぎがとんできてうれしそうに食べ始めました。「やっぱり餌をやりに戻ってよかった。」進一少年はほっとしました。そして、今度は港に向けて走り始めました。「船に間に合うかな。お母さんは待っているだろうな。」汗びっしょりになりながら、遠い道を夢中で走りました。

けれど、港に着いたのは船が出た後でした。「ごめんなさい。」と謝る進一少年に、お母さんはにこにこしながらこう言いました。

「こんな時なのに優しい心を忘れていなかったね。お前は本当に強い子だよ。」

うさぎのために夢中で走ったことやお母さんが誉めてくれたことは、森進一さんの心に大人になってもずっと残っていて、苦しいことがあるたびに、思い

出すのだそうです。

三勲小学校にはうさぎが二羽います。飼育委員会の人たちが毎日お世話をしてくれているのでとても元気です。うさぎはとてもかわいくて校長先生も大好きですが、うさぎ以外にも私たちの周りにはいろいろな生き物がいますね。先週は校長先生にクワガタを見せてくれた人もいました。餌が入っていなかったので「何を食べるか調べてごらん。」と校長先生が言ったら、次の日にはちゃんと中にクワガタの好きな餌が入っていましたよ。どの生き物も命があって一生懸命に生きています。かわいがったり優しい気持ちで接したりしたいですね。

また、このうさぎの話は、自分の仕事を責任もってすることの大切さも教えてくれますね。皆さんも当番や掃除、委員会や係の仕事、お家で任されている仕事などいろいろな仕事がありますね。このお話のように、自分がすべきことはきちんとしなくてはいけないんだという気持ちで一生懸命頑張してほしいと思います。

今日は森進一さんの子どもの頃のうさぎ当番のお話をしました。

<スポーツ用品を寄付していただきました>

5月25日付け山陽新聞朝刊にも掲載されましたが、この度、トマト銀行様とナカタホーム岡山様より「次世代を担う子どもたちの成長を応援するために」ということで、テールフラッグベルトとスカッドキッズというスポーツ用品をご寄付いただきました。子どもたちの体力向上のためにしっかりと活用させていただきたいと思います。

<三勲小の一部>

右は、校舎の壁面に掲げられている板製のレリーフです。これは1973年(昭和48年)に三勲小学校の50周年を記念して、6年生が共同制作したものです。それぞれの顔と「真実一路」「友情」「仲よきことは美しきかな」「自分の道を自分の足で」「いまやらねばいつやる。俺がやらねばだれがやる」などという文字が彫られています。



またこの時には、50周年記念の日本手ぬぐいも作られました。北館から南館に行く1階西側の渡り廊下近くに額に入れて掲げられています。

